

地域版信州学び円卓会議について

1 目的

「信州学び円卓会議」及び「県民意見交換会」での議論を踏まえ、地域課題については地域が主体となった議論を行い、具体的な取組に繋げていく。

議論の経過や結果については各地域への共有や情報発信を行うことで、他地域への取組の拡散を図る。

2 事業概要

「信州学び円卓会議」での議論を踏まえ、人口減少下において、その地域ならではの特色ある学びの実現に向け、講演会及び意見交換会を実施し、地域の機運醸成を図りながら、地域住民が学びについて考える対話・検討の場の開催を支援する。

【飯田会場の様子】



【木曾会場の様子】



3 第1回地域版信州学び円卓会議概要

(1) 日時等

令和6年5月8日(水) 13:00~14:30 現地・オンライン併用

現地会場

〔 飯田合同庁舎1階 101号会議室(南信州地域関係者のみ)
木曾合同庁舎2階 講堂(木曾地域関係者のみ) 〕

(2) ゲストスピーカー

千葉大学 副学長・教育学部教授 貞広 斎子 氏

「学校再配置・魅力化とネットワークング ～現状と方向性について～」

(3) プログラム

ゲストスピーカーによる講演(オンライン)

現地会場にて地域課題等について意見交換(南信州・木曾地域関係者のみ)

(4) 参加者

- ・南信州地域、木曾地域の市町村(首長、教育長等)
- ・信州学び円卓会議運営委員会委員

(5) 主な内容

前半は千葉大学の貞広教授より4種のネットワークングについて講演をいただき、後半は飯田会場、木曾会場に分かれ意見交換がなされた。

飯田会場では、多くの学校を抱えている自治体もあれば小中学校一つずつという自治体もあり、課題感は様々であるが、特に多様な主体と連携した取組について意見が出され、広域的な連携の必要性についても共有された。

木曾会場では、子どもの数の減少による学校存続等への危機感について意見が出され、各町村の抱える課題について共有された。

4 今後の予定

地域主体で学びについて考える機運醸成を図るとともに、南信州地域、主に根羽村を中心に、中山間地域ならではの学びのあり方について、地域が主体となった議論を行い、具体的な取組に繋げていくことを目指す。